

オリンピックも終わり、お盆も過ぎましたが、まだまだ厳しい暑さが続きます。寝不足や熱中症にお気をつけください。現在会員登録数 856 人さま。ご愛読いただきありがとうございます。次号は9月20日発行の予定です／

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

【1】お知らせ

【2】コラム

《1》 YO!この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 24

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

《4》 行って来ました!

【3】全国のイベント紹介

【4】プレゼント

【1】お知らせ

●フォーラム「子どもの文学と文化を問い続けてー

児童文学者 中川正文の仕事を探る」

日本で初めて関西弁で絵本を創作するなど、幅広い活動を続けた中川正文氏(1921~2011)の業績を探ることによって、児童文学・児童文化の歴史をふりかえり、これからの子どもの本、文化のありようについて考えます。

1. 日 時：平成 24 年 9 月 29 日(土) 午後 1 時~4 時
2. 場 所：大阪府立中央図書館 2 階大会議室(東大阪市荒本)
3. 講 師：荒木昭夫さん(京都児童青少年演劇協会代表世話人)  
今江祥智さん(童話作家)  
梶山俊夫さん(絵本作家：ビデオ出演)  
田島征彦さん(絵本作家)  
永田桂子さん(児童文化研究者)  
松居 直さん(当財団特別顧問、福音館書店相談役)  
向川幹雄さん(当財団特別顧問、兵庫教育大学名誉教授)  
司会：遠藤 純(当財団特別専門員)
4. 対 象：児童文学に関心のある方なら、どなたでも参加いただけます。
5. 参加費(活動協力費)：一人 1,000 円
6. 定 員：80 名(申込先着順：HP、電話、ファックスで)
7. 主 催：財団法人 大阪国際児童文学館  
後 援：大阪府立中央図書館 子どもゆめ基金助成事業

●「第29回ニッサン童話と絵本のグランプリ」作品募集

アマチュア作家を対象とした創作童話と絵本のコンテストです。構成、時代などテーマは自由で、子どもを対象とした未発表の創作童話、創作絵本を募集しています。締め切りは10月31日(水)です。詳細は↓↓

[http://www.iiclo.or.jp/07\\_com-con/02\\_nissan/index.html](http://www.iiclo.or.jp/07_com-con/02_nissan/index.html)

● 寄付金を募集しています

当財団の運営を応援いただける個人、法人の皆さまからのご寄付を募っています。寄付金は、当財団が行う講座・講演会など、さまざまな事業経費に充てさせていただきます。ぜひ、ご協力いただきますようお願いします。

お申し込み、詳細は → <http://www.iiclo.or.jp/donation.html>

---

【2】コラム

---

\*\*\*\*\*

《1》 Y O ! この本読んだ? Yasuko's & Okiko's Talk

\*\*\*\*\*

『フェリックスとゼルダ』 モーリス・グライツマン/著 原田勝/訳

あすなろ書房 2012年7月 対象年齢：小学校高学年以上

あらすじ：フェリックスは、ポーランドの孤児院に3年8カ月いる10歳の男の子。ある日、孤児院でイディッシュ語の本が燃やされているのを見て、本屋を営んでいた両親が心配になり、孤児院を抜け出す。そして、両親を殺された6歳の少女ゼルダと出会い、一緒に逃げる。歯医者さんのバーニーにかくまわれるが、ナチスに見つかり、汽車に乗せられる。続刊中の第一巻。

O：スープの中に大好きなニンジンがまるごと一本入っていたのを両親からの合図だと思って孤児院から抜け出す決心をする、という書き出しから、何かおかしい…

Y：フェリックスはお話を創って語るのが得意で、ゼルダと逃げている間も、他の子どもたちと一緒にゲッターの地下にかくまわれている間もお話を語ることで厳しい現実を切りぬけて行きます。作品全体が「おはなし」としての枠組みを持っている点がこれまでもあった手法とはいえ、興味深く読みました。原文のタイトルが“Once”で、各章の冒頭がすべて、「昔、ぼくは」から始まっています。

O：ナチスに命を狙われ、目の前で人が殺されていくという過酷な現実がこの言葉によって、少し読者に距離を与え、読み進めることができるのではないのでしょうか。また、語り手は、今生きているということがわかることも安心感を与えます。

ただ、5歳で疎開を経験した私としては、フェリックスがあまりにも楽天下すぎるようにも感じました。戦争を体験していない読者が読み進めることができるように面白いストーリーに仕立てることとホロコーストの事実との間を、この作品で埋められているのか、21世紀の戦争児童文学の表現方法として、第2巻以後も読みたいですね。

Y：後半にフェリックスは、ゼルダのペンダントの写真を見て、ゼルダの父親はナチスの将校で、ゼルダの両親はレジスタンスに殺されたことを知ります。戦争の中では、子どもは、どんな立場であれ、翻弄されるのだという点が伝わるストーリー展開だと思いました。

O：むごい過去を、昔話のように誇張した「面白い物語」として語っているのは、オーストラリアの作家なのですね。戦争児童文学は、実体験から文学体験の時代に入ったといえるかな。

\*\*\*\*\*

## 《2》 読書活動ボランティアのためのワンポイント 24

\*\*\*\*\*

### その5 絵本の選び方(10) 絵本を評価する：ジャンル j. 赤ちゃん絵本

「赤ちゃん絵本」の評価が難しいのは、赤ちゃんを0, 1, 2歳と定義したとして、月齢によって視力や視覚、言葉の理解に大きく差があること、また、読んで楽しんでいるかどうかの反応を赤ちゃんが言葉で表現することができないこと、基本的に大人と一緒に読むので、赤ちゃんの反応＝絵本の評価ではないことが挙げられます。

赤ちゃんは、幼児以上に、一対一の対応が求められますから、「おはなし会」は赤ちゃんが絵本を楽しむ会というよりは、保護者が絵本を知り、絵本の楽しみ方や読み方を知る場ということができます。

そして、保護者が赤ちゃんに絵本を読む一番の目的は、絵本を共に読むことによって、楽しい時間を過ごすことです。犬の絵を見て赤ちゃんが犬を指さしたら、「わんわんだね」と言う。そこで赤ちゃんが声を出したら、それを認める。散歩に行くと、犬を見てまた、「わんわんだね」と言う。このように日常生活体験の中で絵本を楽しみ、赤ちゃんとの生活を豊かにしていくことが赤ちゃん絵本の楽しみ方であると言えるでしょう。

そのような赤ちゃんと保護者が楽しむ絵本として、どんな絵本を選べばいいのでしょうか。まず、絵本を知らない赤ちゃんが絵本とはどういうものが理解できる絵本ということが挙げられます。赤ちゃんの生活圏を大きくはみださないわかりやすいことばと何が描かれているかがわかる絵、単純なページ展開で構成されている絵本であることが必要です。

赤ちゃんはお気に入りの絵本ができれば、何度も繰り返して読みます。言葉にも絵にも経験が少ない赤ちゃんが何度も触れ合うものであるという意味では、赤ちゃんの体にしみ込んでほしいような言葉や絵を選ぶことが大切です。そして、大人も繰り返し読みながら一緒に新たな発見ができるような絵本であれば、共に楽しむことが可能になります。

例えば、『いないいないばあ』（松谷みよ子 瀬川康男/絵 童心社）は、2見開きごとに「いないいない」「ばあ」という子どもに身近な遊びが展開されており、絵本を読んだ後に一緒に遊ぶことも可能です。『りんご』（松野正子 鎌田暢子/絵 童心社）は、「りんご」という言葉の響きが美しく、写実的な絵にりんごのおいしさ、形や色の魅力が表現されています。『んぐまーま』（谷川俊太郎 大竹伸朗/絵 クレヨンハウス）のように、意味のわからない音と抽象的な絵で表現された絵本は、言葉とは何かということ自体をゆさぶる作品です。

これらに加えて、赤ちゃんは、口で周りのものを理解していくので、造本にも気を配り、角がとがっている本は、赤ちゃんが一人で触らないように気を付けるなどの配慮も必要です。

\*次号では「その5 絵本の選び方(10) 絵本を評価する：ジャンル k. 小学校高学年～中学生向けの絵本」の予定です。質問や意見をいただきましたら、

お答えしていきたいと思います。(Y)

\*\*\*\*\*

《3》 サイト紹介 ー子どもの本をリサーチするー

\*\*\*\*\*

一次資料データベース篇4回目。今回ご紹介するのは以下のサイトです。

●国立公文書館デジタルアーカイブ

<http://www.digital.archives.go.jp/index.html>

国立公文書館は、国の行政機関などから移管を受けた重要な公文書等を保存管理する機関です。明治政府が江戸幕府から引き継いだ古文書、国内外の出版物など貴重なものが多く含まれています。

サイトでは、公文書(約75万冊分)や内閣文庫(約48万冊分)の目録データが提供されており、順次デジタル化が進められています。現在、約1,055万コマの画像がインターネットで閲覧できます。

一見、児童文学や児童文化とは無縁のようですが、こうした文書の中にも関連資料が掲載されています。

例えば、『教草』(おしえぐさ)は、日本の伝統産業を子ども向けにわかりやすくまとめた木版絵図で、明治5年から9年にかけて内務省博物館より刊行されました。稲作、養蚕、生糸、素麺、製茶などの技術や製法が、文章と色鮮やかな木版画によって美しく表現されています。知識読み物と社会科の副読本を併せたような体裁というところでしょうか。

この資料が編纂された背景には、明治6年の万国博覧会(ウィーン)があるようです。明治政府は、参加準備のために各地の産物について資料収集を実施。それをもとに作られたのが本書でした。

同書解説によると、万国博覧会への参加目的は、日本の優れた産業を海外に紹介して輸出を促進すること、博物館を設置して博覧会を開催すること。この考えは、その後殖産興業政策の一環として各地で開催される内国勸業博覧会へ引き継がれますが、それがひいては児童博覧会の開催へと繋がっていきます。その源流の一つがここにあるようで、興味深いものがあります。

その他、江戸時代の庶民のヒーロー「朝比奈義秀」を描いた『鎌倉年代図会』(朝比奈は、児童読み物ではお馴染みの軍記物語「曾我兄弟」に登場する人物)、戦時下の行政文書「日本少国民文化協会関係書類」、戦時下紙芝居なども掲載。キーワード検索ができますので、ぜひお試しください。(J)  
※次号は、一次資料データベース篇〈その5〉の予定です。

\*\*\*\*\*

《4》 行って来ました!

\*\*\*\*\*

「絵本ギャラリーin奈良」に行ってきました。今年で13回目ということで「絵本でつなごう 心の絆」を合言葉に、奈良教育大学で開催されました。

会場となっている棟の1~3階の教室ごとに、いろいろなグループや団体が

出展しています。ポスターや飾りつけなど手作り感があり、まるで文化祭のようです。赤ちゃんから小学生くらいの親子連れがたくさん訪れていました。

催しは、約 800 冊の絵本が展示されていて自由に読むことができる「1 日文庫」、音声とともに文字や画像が表示されるデジタル録音図書や、点字絵本などを紹介する「ユニバーサル絵本」、年齢に合わせた絵本の展示や読み聞かせなどが楽しめる「赤ちゃんのへや」や「ジュニア絵本の部屋」、別会場ではステージイベントなど盛りだくさん。

一緒に行った姪（小 3）と甥（3 歳）は、高校生による参加型の劇「浦島太郎」がおもしろかったようです。ちょっとお話の筋が違う浦島太郎を子どもたちが声を出して応援したり、劇の後にクイズを楽しんだりしました。突然現れた絵本のキャラクターの着ぐるみ、恐竜ティラノサウルスと記念撮影をしたり、カルピスのブースでは自分でカルピスを作らせてもらえたりと一日楽しんで帰る頃、外は豪雨でした。（K）

---

### 【3】全国のイベント紹介

---

#### ● えほんのひろば

外国語の絵本も含め約 500 冊の絵本がならぶ… 絵本を通じて、いろいろな国の文化や言語の新しい発見とわくわくする出会い！

日 時：平成 24 年 9 月 8 日（土）～9 日（日）11：00～16：00

場 所：大阪市立中央図書館 5 階大会議室（大阪市西区北堀江）

内 容：「多言語おはなし会」 「絵本ってこんなにおもしろい♪」

「おはなしワークショップ」 「世界の文字を書いてみよう」

参加費：無料

主 催：NPO 法人 おおさかこども多文化センター

#### ● 世界の子どもの本展 IBBY がすすめる世界の児童書 219 冊

日 時：平成 24 年 9 月 18 日（火）～23 日（日）10：00～18：00

場 所：吹田市立中央図書館 1 階集会室（大阪府吹田市出口町）

参加費：無料

\* 記念講演会「ひびきあう心とことばー子どもの本は世界への応答ー」

講 師：早川敦子（津田塾大学教授）

日 時：平成 24 年 9 月 22 日（土祝）14：00～16：00

場 所：吹田市立中央図書館 3 階集会室

参加費：無料 申込み：必要

主 催：社団法人 日本国際児童図書評議会（JBBY）

共 催：吹田子どもの本連絡会

上記イベントの詳細およびその他の講座・講演会、展示会、公募情報については、こちらからご覧ください。↓↓

[http://www.iiclo.or.jp/03\\_event/04\\_other/index.html](http://www.iiclo.or.jp/03_event/04_other/index.html)

※イベント情報をお送りください。当財団HPに掲載させていただきます／

---

### 【4】プレゼント

